



第32回洋上WG合同会議 公募占用指針改訂案についてのヒアリング

2025年6月3日

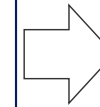
一般社団法人 再生可能エネルギー長期安定電源推進協会
洋上風力委員会



第31回洋上WG合同会議（3月10日）で示された第1ラウンドFIP転について REASP会員に意見照会

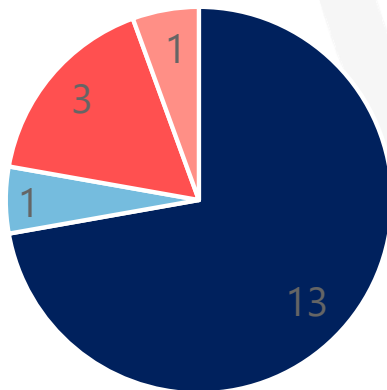
意見照会にあたり、以下のような質問項目を設定

- 1) 国への意見申し入れを行うことの是非
- 2) 意見申し入れについて3つの論点に整理。それぞれの観点について意見求めた。
 - ア) 事後的にFIP転を認めたことに対する意見。
 - イ) FIP転を認めることへの検討過程で十分な議論がなされておらず、影響が想定される他の事業者に対して事前説明がされなかったこと。
 - ウ) PPA市場での他の公募案件への影響が懸念され、ラウンド間の公平性が保たれない可能性があること。またこの3点の論点以外に、追加すべき論点があれば意見を求む。
- 3) その他、洋上風力事業の促進・事業安定化の観点から、国に求める措置の提案



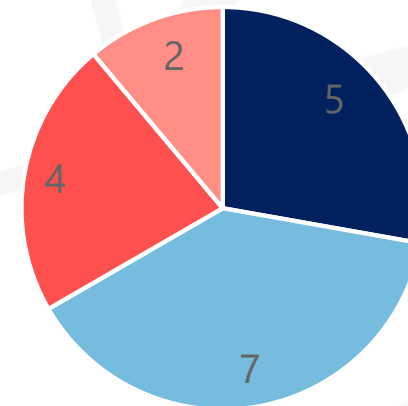
結果、18社から回答を得た。
属性は、R1非選定事業者、R1関係者、R2選定事業者など事業者の立場はさまざま。
問題意識は共通しており、意見提出について賛同する意見も多かったが、業界団体として意見統一を図ることは困難と判断。集めた意見は、社名を伏せた形で、4月23日に開催された新エネ課による事業者への説明会の参考資料として提出。
23日の説明会以降、REASP内で本件は議論せず、パブコメも個社対応に

意見照会結果



■ 意見すべき ■ 慎重に考えるべき ■ R1関係者 ■ 意見なし

回答者の属性



■ R1関係者 ■ R2/R3選定事業者 ■ 非選定事業者 ■ その他事業者



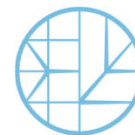
REASP意見照会の結果（主な意見）

大項目	中項目	小項目	該当者
事後のルール変更は問題あり	FIP転を認めるべきではない	R1の公募をやり直すべき	A社、B社、C社
		FIP転は法的根拠に疑義あり	A社
		FITのまま維持すべき または再公募	D社
	FIT維持か制限付きFIP転で対応すべき		E社
	FIP転を認めるべきかについての言及はなし		F社
検討過程が不透明で、審議会でも丁寧な議論がなされていない			G社、H社、I社
PPA市場への影響	洋上風力各ラウンド間の不公平感 第2.3ラウンド事業にも相応の支援を		F社、G社、I社 J社、K社
	太陽光や陸上風力を含む再エネ全体への懸念		H社、L社
今後の制度に関する意見（為替変動に対する調整、オフテイカー支援など）			D社、H社

REASPとしての意見：

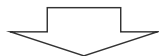
全ての電源においてFIP転を推進することには違和感はないが、第1ラウンド洋上プロジェクトが含まれるという認識を業界としても共有していなかった。今後、**認識の齟齬が生じないよう事業者団体との情報共有を徹底していただきたい。**

第31回洋上WG合同会議（3月10日）で示された第1ラウンドFIP転について REASP内での意見集約とその後の経緯



意見集約にあたり、質問項目を設定

- 1) 国への意見申し入れを行うことの是非
- 2) 意見申し入れについて3つの論点に整理。
それぞれの観点について意見求めた。
ア) 事後的にFIP転を認めたことに対する意見。
イ) FIP転を認めることへの検討過程は十分な議論がなく、影響が想定される他の事業者に対して事前説明がされなかったこと。
ウ) PPA市場での他の公募案件への影響が懸念され、ラウンド間の公平性が保たれない可能性があること。
またこの3点の論点以外に、追加すべきの論点があれば意見を求める。
- 3) その他、洋上風力事業の促進・事業安定化の観点から、国に求める措置の提案



18社から回答。
R1非選定事業者、R1関係者、R2選定事業者など事業者の立場はさまざま。問題意識は共通しており、意見提出について賛同する意見も多かったが、業界団体として意見統一を図ることは困難と判断。集めた意見は、社名を伏せて4月23日の新エネ課による説明会の参考資料として提出。23日の説明会以降、REASP内で本件は議論せず、パブコメも個社での対応

意見集約の結果（主な意見）

大項目	中項目	小項目	該当者
事後のルール変更は問題あり	FIP転を認めるべきではない	R1の公募をやり直すべき	A社、B社、C社
		FIP転は法的根拠に疑義あり	A社
		FITのまま維持すべき または再公募	D社
	FIT維持か制限付きFIP転で対応すべき		E社
	FIP転を認めるべきかについての言及なし		F社
検討過程が不透明で、審議会でも丁寧な議論がなされていない			G社、H社、I社
PPA市場への影響	洋上風力各ラウンド間の不公平感 第2.3ラウンド事業にも相応の支援を		F社、G社、I社 J社、K社
	太陽光や陸上風力を含む再エネ全体への影響を懸念		H社、L社
今後の制度に関する意見（為替変動に対する調整、オフピーカー支援など）			D社、H社

REASPとしての意見：

全ての電源においてFIP転を推進することには違和感はないが、第1ラウンド洋上プロジェクトが含まれるという認識を業界としても共有していなかった。今後、**認識の齟齬が生じないよう事業者団体との情報共有を徹底していただきたい。**